

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成18年5月11日(2006.5.11)

【公開番号】特開2006-79820(P2006-79820A)

【公開日】平成18年3月23日(2006.3.23)

【年通号数】公開・登録公報2006-012

【出願番号】特願2005-311091(P2005-311091)

【国際特許分類】

**G 1 1 B 20/12 (2006.01)**

**G 1 1 B 20/10 (2006.01)**

**G 1 1 B 7/005 (2006.01)**

**G 1 1 B 7/007 (2006.01)**

【F I】

G 1 1 B 20/12

G 1 1 B 20/10 3 2 1 Z

G 1 1 B 7/005 Z

G 1 1 B 7/007

G 1 1 B 20/10 B

【手続補正書】

【提出日】平成18年2月21日(2006.2.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

記録データに対する誤り訂正の単位となるECC (Error Correcting Code) ブロックが、それぞれシンクコードが付加された複数のフレームに分割して記録された単位ブロック領域と、

隣接する前記単位ブロック領域間の境界部に挿入され、前記単位ブロック領域におけるシンクコード間隔と同間隔となる位置に前記単位ブロック領域内のシンクコードと異なるシンクコードが付加された2つのフレームが配置されたリンク領域と、

を備え、

前記リンク領域内の2つのシンクコードのシンクパターンが異なることを特徴とする情報記録媒体。

【請求項2】

前記リンク領域は、前記隣接する単位ブロック領域の全ての前記境界部に挿入されていることを特徴とする請求項1に記載の情報記録媒体。

【請求項3】

記録データに対する誤り訂正の単位となるECC ブロックが、それぞれシンクコードが付加された複数のフレームに分割して記録された単位ブロック領域と、隣接する前記単位ブロック領域間の境界部に挿入され、前記単位ブロック領域におけるシンクコード間隔と同間隔となる位置に前記単位ブロック領域内のシンクコードと異なるシンクコードが付加された2つのフレームが配置されたリンク領域と、を備え、前記リンク領域内の2つのシンクコードのシンクパターンが異なる情報記録媒体の当該記録データを再生する情報再生装置であって、

再生された記録データから前記シンクコードを検出するシンクコード検出手段と、

前記検出されたシンクコードに基づいて前記リンク領域の位置を判別する再生制御手段と、

を備えることを特徴とする情報再生装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記の課題を解決するために、請求項1に記載の発明は、記録データに対する誤り訂正の単位となるECCブロックが、それぞれシンクコードが付加された複数のフレームに分割して記録された単位ブロック領域と、隣接する前記単位ブロック領域間の境界部に挿入され、前記単位ブロック領域におけるシンクコード間隔と同間隔となる位置に前記単位ブロック領域内のシンクコードと異なるシンクコードが付加された2つのフレームが配置されたリンク領域と、を備え、前記リンク領域内の2つのシンクコードのシンクパターンが異なるように構成されている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記の課題を解決するために、請求項3に記載の発明は、記録データに対する誤り訂正の単位となるECCブロックが、それぞれシンクコードが付加された複数のフレームに分割して記録された単位ブロック領域と、隣接する前記単位ブロック領域間の境界部に挿入され、前記単位ブロック領域におけるシンクコード間隔と同間隔となる位置に前記単位ブロック領域内のシンクコードと異なるシンクコードが付加された2つのフレームが配置されたリンク領域と、を備え、前記リンク領域内の2つのシンクコードのシンクパターンが異なる情報記録媒体の当該記録データを再生する情報再生装置であって、再生された記録データから前記シンクコードを検出するシンクコード検出手段と、前記検出されたシンクコードに基づいて前記リンク領域の位置を判別する再生制御手段と、を備える。